

名古屋市立東志賀小学校(二面に作文)



完全学校週5日制実施に伴う 修学旅行の課題に関する調査報告

関東地区公立中学校修学旅行委員会 5日制専門部会

完全学校週5日制の実施が迫るなか、関係委員は九年度五日制専門部会を設置、委員長に柳川達郎埼玉県北本市立東中学校長を選出し、二〇〇二年からの完全学校週5日制もとの修学旅行の課題や在り方について関東五県八七九名の学校長からのアンケートを分析し考察をした。

「現行」と「これから」の修学旅行の目的・ねらい

回答項目(複数回答)	現行	これから
ア 直接の見聞や体験により、視野を広め、情操を豊かにする	88.9	76.6
エ 自主性、協力性、責任感を培い主体性を育てる	85.7	73.5
オ 集団生活の規律、公衆道徳を学び社会性を深める	81.0	64.3
カ 友人・先生などとの望ましい人間関係を深め学校生活を豊かにする	65.0	54.7
イ 実地見学・調査・研究などにより教科学習を充実する	37.0	54.2
ク 学習や体験を総合し判断力や課題解決能力を高める	35.6	44.0
ケ 現地や往復の行程の中で、人々の直接的な出会いやコミュニケーションを通して実社会を学習する	30.1	43.7
キ 環境美化・自然保護・社会福祉等の奉仕活動などによりボランティアの精神を培う	3.3	33.1
ウ 大自然に親しみ、心身の鍛練と健康を増進する	2.4	13.9
コ その他	0	0.1
備考(複数回答による回答総数)	3770	4028

伊勢志摩への修学旅行 今年も出発 「あおぞらII号出発式」

- 5月12日 近鉄上本町駅 -



笑顔で「行ってきます」

財団法人全国修学旅行研究会(全修協)は、日本の教育の振興に寄与することを目的とし、教育を熱愛し子供たちの幸福を希望する人々の支持を得て、修学旅行の改善向上を目指して、全国的規模で活動する文部省許可の教育研究財団である。

財団法人全国修学旅行研究会(全修協)は、日本の教育の振興に寄与することを目的とし、教育を熱愛し子供たちの幸福を希望する人々の支持を得て、修学旅行の改善向上を目指して、全国的規模で活動する文部省許可の教育研究財団である。

治上本町駅長が三十数年にわたる「あおぞらII号」の役割を述べるとともに安全と快適な修学旅行にするため、今後とも努力する旨、答礼の拍手のうちに出発式を終了した。

八時二十四分「あおぞらII号」は上本町駅を発車し、子供達の希望と夢を乗せて伊勢路を快走した。

なお、今春の「あおぞらII号」は、六月十一日まで、秋分は十月七日から十一月十三日まで約四万人が乗車する。

主張

環境における学校・家庭・社会の連携を

理事・総局長 鴻田 好通

今や「環境」は地球と人々の間に展開される。家庭・地域・類の存亡にかかわると言っても過言ではない程極めて重い意味を持つている。

我が国の環境教育は「健康と公害」を中学校保健体育科でとりあげたのがその始まりといえる。現在は全体的な教科において、そして今後は新しく設けられるであろう総合学習の時間の課題としても位置付けられ、環境を現代的課題としてその正しい知識・理解とそれを実践しようとする態度を育てることを基本に、

育のみでなく、家庭、地域、あるいは野外活動といった様々な場において、多面的に展開される必要がある。

一方、環境保全のための経済社会システムの改革のなかで、環境へ配慮した行動が企業存続のための条件となつていくといわれている。企業の管理者が構成員に誘因、説得、教育を行なう環境マネジメントシステム(ISO14000)の拡大と継続的改善努力の環境への負荷の少ない商品・サービスや環境保全に資する技術やシステムを提供するエコビジネスの成長に大きな期待が持たれている。

このように、学校・家庭等を中心にした三者の連携め次のような柱を立てていく。

- (1) 修学旅行における環境学習研究・実践校募集と指定校への研究助成と顕彰・研究発表会の開催
- (2) 修学旅行における環境学習展開のための指導資料の作成
- (3) 学校・受入れ地を対象に、修学旅行における環境学習の学習環境・条件・動向等の調査
- (4) 修学旅行地における環境学習の推進のための人的・物的条件整備の提言

これらの推進に当たって社会的・経済システムの主たる部分を担う企業・事務所等にこの事業の趣旨の理解と事業への参画・協力を呼びかけ、そのための推進していく。

風紋

六月。先ずイメージとして梅雨入りのうっとうしい時期というところであろう。

▼走り梅雨から入梅、青梅雨そして送り梅雨へと、雨季の移りゆく情景を表わす言葉である。▼日本大歳時記(講談社)はこの月を、輝かしい五月と、炎暑の七月にはさまれてどこかあいまいな印象であるといっている。

▼しかし麦秋(陰暦四月)から一気に田植えの時期に入り、青々とした早苗が田の面を埋めて、天地化育の相を示す田園の風景は、この時期特有のさかんな眺めでもある。▼六月の瀬田を眩しむゆきかえり「六月や樹陰に竹は肌しめる」またこんな情景も「しみじみと見て梅雨寒の田の面かな」

▼六月の異名を水無月というが、これは陰暦のこと。現代暦では七月に当たる。炎暑のため水が涸れ尽きる時期であり、梅雨とは時候がずれることになる。また風待月ともいうが、いずれにせよ炎暑の時期をよく表現した古語である。「戸口から青みな月の夜かな。一茶」▼五月雨は五月(陰暦五月)に降る雨の意で、梅雨と同義語である。梅雨は五月雨の降る時候を示す語であり、五月雨は雨そのものをいう。古語辞典によれば、「ここにいう「さ」は、神に捧げる稲を意味する接頭語であり、「みだれ」は水垂れる意で、そぼろと垂れるように降る雨ということである。「五月雨の降り残してや光堂」五月雨を集めて早し最上川」いずれも俳聖芭蕉の名句。湖の水まさりけり五月雨・去来(一煎)

夢と感動の修学旅行

人が好き。地球が好き。旅がスキ。

近畿日本ツーリスト

運輸大臣登録旅行業第20号(社)日本旅行業協会会員

楽しい旅に、大きな安心。

TOKIO MARINE

「学校旅行総合保険」をおすすめします。

東京海上火災保険株式会社

本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-3212-6211(代表)

教育の志

文部省では、この四月二八日に教育改革プログラム二回目の改訂版を発表した。そこでは、我が国が活力ある国家として発展していくためには、次のような視点から、教育改革を進める必要があるとしている。

すなわち、○心の教育の充実 ○個性を伸ばし多様な選択ができる学校制度の推進 ○現場の自主性を尊重した学校づくりの促進 ○大学改革と研究振興の推進

教育改革プログラム

文部省初等中等教育局
主任視学官 渡部 邦雄



この協議の場などの設定を中心とした教育改革を進めようとしているのである。

時代の推移に伴い、子どもを取り巻く社会の状況が大きく変化し、これまでのような我が国の教育の在り方は対応しにくくなってきている。

ここでは、特に学校教育の在り方について、教育改革プログラム内容に触れる。

◆心の教育の充実
子どもの心の成長をめぐり、状況と今後重視すべき心の教育の視点や幼児期から重んじた学校づくりの促進の発達段階を踏まえた心の教育の在り方などについて、

活用の場と並び「心を育てる」として、

場として「学校を見直す」として、

が提言されている。

特に学校に関しては、学校教育の役割を見直し、「学校を、心を育てる場に」として、

「学校を、心を育てる場に」として、

の重要性を指摘し、その

方、全校一丸となった毅然とした対応の必要性などが示されている。さらに、薬物乱用問題への対応に、警察職員や麻薬取締官OB等の専門家の協力を得て、すべての中学・高校において、年一回は薬物乱用防止教室を開催することなど、

セリングの推進などが課題となっている。

《道徳教育の改善充実》
《問題行動への毅然とした対応》
《生きる力とゆとりある学校生活の実現》
《生きたる力とゆとりある学校生活の実現》
《生きたる力とゆとりある学校生活の実現》
《生きたる力とゆとりある学校生活の実現》

修学旅行生の作文

へ心に残る修学旅行

修学旅行—京都・奈良—

名古屋市立東志賀小学校
森川 恵里



「みんな集まれ」見学中の一コマ

待ちに待った修学旅行。小学校生活一番の思い出になる行事です。

観光バスの中で、バスガイドさんが話して下さいました。京都・奈良の話から、(きつと)京都・奈良はすてきな所なんだろうなあ。奈良の大仏はどの位大きいかな?金閣寺はどの位きれいなだろう。

と、ワクワクしながら聞いていました。

楽しみにしていた場所の一つ、奈良公園に着きました。奈良公園のしかは私達が近づくと、そばよって来て、「しかせんべいください。でももうようにおじぎを何回もし、おねだりをしてください。」

次におもてなされたのは、羽の滝の水を入れたし

てきました。とても人なつです。ここでは、たくさん

つこくて、かわいいしか達

でした。あとガイドさんが

千一休あることを教えてく

れました。そして、自分

かなうことも知りました。

空がくもっている中、最

後に着いた所は清水寺でし

た。清水の舞台は十二メ

ートルの高さで、京都の町が

よく見わたせました。秋に

なると紅葉がきれいという

ことなので、ぜひ秋にも行

つてみたいと思います。こ

れは手を全部パシャんと入

りました。ちよつとよくば

りだつたかな?

清水寺を最後に、京都・

奈良の修学旅行は無事終わ

りました。この二日間であ

りだつたことや経験したことを

これから学校生活にも役

立てていきたいなあとお

思います。

◇東志賀小学校旅行行程

4/22 名古屋→奈良

法隆寺→春日大社→若

草山→二月・三月堂→

東大寺大仏殿→京都泊

4/23 三十三間堂→金

閣寺→大森映画村→清

水寺→名古屋



ガイドさんと一緒に(二月堂にて)

豊かな自然が息づく湖尻高原の中心。箱根高原ホテルは、深い緑の中に700名収容の大ホールや、中小の研修室など、数々の施設が整っています。その他体験コースもいろいろ。心にとこる想い出づくり。感動づくりに素晴らしい環境です。

湖尻高原の大自然に抱かれてハートフル・コミュニケーションをお約束します。

箱根高原ホテル
〒250-0500 神奈川県足柄下郡箱根町湖尻
☎(0460)4-8595代 FAX.(0460)4-9488

●修学旅行/林間学校/スキー体験学習

奥日光の自然と仲間たちとの語らい……

夏は林間学校、冬はスキー。自然探勝の基地として日光国立公園内にたつ当ホテルをご利用ください。鉄筋3階建/小学生550名/中学生550名/高校生450名収容/大浴場あり

奥日光高原ホテル
〒321-1662 栃木県日光市湯元温泉
TEL. 0288(62)2121(代表)

—修学旅行の楽しいお食事—

箱根彫刻の森美術館内 レストランコンポート

◇500名様迄、ご利用いただけます。
◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。

〒250-0407 神奈川県足柄下郡箱根町二の平1121
☎0460(2)2221(予約センター)

東京コマ旅行会館は第8回優秀防火建築表彰で建設大臣賞を受賞いたしました。東京でのお泊りは安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様により有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03) 3585-1046(代表)

東京 コマ旅行会館